

NEWS RELEASE

THE SHIMIZU BANK, LTD.



令和7年3月10日
株式会社 清水銀行

ブルーオレンジ合同会社による『しみずSDGs取組支援サービス』のご利用について

株式会社清水銀行(頭取:岩山 靖宏)では、「しみずSDGs取組支援サービス」を通じて、ブルーオレンジ合同会社(本社:静岡県沼津市、代表社員 金城 健二)が、SDGs宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

会 社 名	ブルーオレンジ合同会社
所 在 地	静岡県沼津市東椎路1306-3
代 表 者	金城 健二
事 業 内 容	農産物の生産・加工・販売業、農園の運営・管理事業、就農スクール運営業、太陽光発電事業
SDGsへの取り組み	太陽光発電所の複数運用による環境負荷を低減するとともに、近隣農家等に対して太陽光発電事業の更なる普及を促進します。 耕作放棄地の地主に太陽光発電設備の設置提案の実施や、太陽光発電設備の下でオリーブやサカキ等の植物を育てる等、豊かな自然環境保全のため、さまざまな取り組みを行います。 地元小中学校にオリーブを寄付し植樹を通じて環境保全の学びの提供や、オリーブオイル製造時に発生する搾りカスを利用したオリーブ塩の販売等、さまざまな取り組みにより地域貢献活動を推進します。 自社生産作物の加工を地元福祉施設への委託や、地域農家とタイアップした製品の開発等、さまざまな社会貢献活動により、地域の発展や社会的な課題の解決に貢献します。

※ブルーオレンジ合同会社の「SDGs宣言」は別紙をご参照ください。

以 上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ>

清水銀行 ソリューション営業部 望月 TEL:054-366-9992



清水銀行



ブルーオレンジ合同会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」に賛同し、持続可能な環境、経済、社会の実現に向けて取り組んでまいります。

令和6年11月1日
ブルーオレンジ合同会社
代表社員 金成 健二



SDGsの達成に向けた取り組み

自然エネルギーの活用と普及促進

太陽光発電で環境負荷を低減し、地域環境の保全に貢献します

【具体的な取り組み】

- 太陽光発電所を複数運用します。再生可能エネルギーを地域に継続的に供給し、エネルギーの地産地消を推進します。
- 地域内外の事業者には太陽光発電事業と農業の教育と技術向上の支援を行います。
- 自然災害発生時には発電した電気を地域社会へ供給する体制を構築します。



産業創出による地域社会への貢献

さまざまな社会活動により、地域発展や社会課題の解決に貢献します

【具体的な取り組み】

- 太陽光発電設備の下で生産された作物の加工を地域の福祉施設へ委託し、地域社会とともに成長します。
- 地域農家と、オリーブティーなどの商品開発と生産を行い、県東部の魅力を発信します。
- オリーブ栽培と発電技術の講習会を実施します。技術開発したノウハウを用いて産業を創出し、社会発展に貢献します。



食育を通じた地域貢献活動の推進

健全な食生活を支える地域環境の持続する事に貢献します

【具体的な取り組み】

- オリーブオイル製造過程で発生する搾りカスなどの食物残差をアップサイクルし、フードロス削減します。
- 地域の教育施設にオリーブを寄付し植樹を行います。
- 植樹を通じて、健全な食生活の維持には環境保全が不可欠であるという気づきの機会を提供します。



静岡県東部の豊かな自然環境を保全

地域の自然環境を保全する事に貢献します

【具体的な取り組み】

- 遊休地に太陽光発電設備の設置を提案します。社会課題解決の一助として耕作放棄地を活用します。
- 太陽光発電設備の下でオリーブやサカキなどの植物を育て地域の低炭素化を推進します。
- 自然エネルギーを活用するとともに、植物がCO2を吸収し、酸素を生み出す生態系の循環を守り続けます。



SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。持続可能な社会の実現に向けて17のゴール(目標)と169項目のターゲット(達成基準)から構成されている。